

登山記録

1. 場所 北アルプス 西穂高岳独標

2. 期日 平成23年12月23日(金)～24日(土)

3. メンバー 1名

氏名: 31E伊藤

4. 日程

12月23日(金) 自宅——松本(218km)——新穂高温泉(280km)

入山 5:20 7:40 7:50 10:00 11:00

-13°C晴れ ——西穂高口——立2250m——西穂山荘

11:25 12:30 12:45 13:15 14:45

——丸山 ——西穂山荘 ▲(テント泊)

15:05 15:15 15:40

中央高速は渋滞は無かった。沢渡からチェーンを付けて新穂高温泉に到着した。

晴天であるが寒い。雨具上下を着けて出発。雪は歩き易く、ワカン不要。途中立て1回で

次には山荘に到着した。テント場にテントを張り丸山まで偵察。あまり風はないが寒い。

丸山からの明神、笠と景色を楽しむ。帰幕。夜は満天の星がきれいだった。

今までは学生時代のシュラフを使用していたが、今回シュラフを購入した。

新しいシュラフはさすが暖かいが、それでもやはり殆ど眠れず夜が明ける。

12月24日(土) 西穂山荘——西穂独標下——西穂山荘

アタック 起床5:00 7:15 9:10 10:00 11:35

-15°C晴れのち曇り ——西穂高口——新穂高温泉 ——松本(344km)

12:35 12:45 13:10 13:50 16:35

——自宅(565km)

19:15

そこそこ晴れており出発。服装はヒートテック上下、毛下着上下、毛ズボン、毛カッター、  
ゴアテックス雨具上下、目出帽、ゴーグル。革製登山靴、ゴアテックスオーバシューズ、  
10本歯アイゼン、木製ピッケルにサブザックといういでたち。

目出帽を付けているが、風が結構ありともかく冷たい。

丸山では晴れており、独標、ピラミッドピークなどよく見える。独標に近づくに従い

天気が悪くなってきて視界が悪くなる。風は相変わらずあり冷たい。

独標の岩場下よりちょっと登り始めたところで、足の疲れもあり、状況も良くないので

無理して登るのを止めて引き返すこととした。一昨年に晴天の中に登っているので

躊躇することなく引き返せた。丸山下りは視界が悪いとルートが分からなくなる危険が

あると思った。帰幕してテントを撤収して下山。

新穂高温泉からチェーンを付けたままで沢渡でチェーンを外す。途中蕎麦を食べ

中央高速で帰宅。

3月に腰の手術をして、冬山に登れるまでになったことに感謝。身体が許す限り白銀の  
世界をまた見に来たいと思います。

5. 装備 19.5kg
テント、ペグ、張綱、ストーブ、ガスボンベ2+小1、コッヘル、軍手、ラジオ
天気図、ローソク、ザック、シュラフ、エアマット、ビニシ、新聞紙、携帯電話、サブザック
ピッケル、アイゼン、ワカン、毛帽子、毛シャツ、羽毛服、セーター、毛ズボン、
毛下上下、毛手2、オーバー手袋、オーバーシューズ、雨具上下、靴下(SP1)、
スパッツ、山靴、ヘッドランプ、電池SP、ゴーグル、ナイフ、地図、磁石、呼子、筆記具、
現金、ちり紙、非常食1食分赤飯、三角巾、包帯、裁縫道具、ライター、マッチ、エスビット、
細引、針金2m、バンドSP、カメラ、弁当2食、水筒1+1L、ミルク、目覚時計、
携帯電池、サランラップ、ビバークカバー、ビバークツエルト
6. 食料
1日目 朝: 弁当、昼: 弁当、夜: レトルトカレー、白飯2
2日目 朝: 五目釜飯、昼: パン
7. 現地連絡先
西穂山荘 TEL 0263-95-2506